838
297
116

宮山
小長谷
小菅

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

根岸信輔氏寄贈

藤原 小宮山 本國甲斐 紋 上藤 松皮菱

家傳曰蒲生兵衛源秀郎子小宮山氏 [illegible]

十一代内膳正孝道男宣正仕武田勝頼云々

小宮山淡路守實子

宣正 小宮山喜左衛門

生甲斐

仕信玄勝頼

天正十年壬午勝頼七隊戦死見筋大八四邑

同十九年辛卯奉仕

大神君賜上總州周隼郡牧山邑七百石亦附属

台德公為大御番慶長十六年辛亥附属 [illegible]

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

為即孝行元和二年閏五月孝仕
台德公賜四百五十石為大御番寛永二年七月廿五日卒
法名即因四年丁卯四月廿九歿年七十四葬于雲居山浮宗
宗參寺号風室良薫禅定門

宣重　生甲斐
台德公為御代官後為甲斐御代官
寛永十九年壬午　歿

宣勝　小宮山喜左衛門
宣興　小宮山傳三郎

小宮山清右衛門　清四郎

安重　生男
寛永十九年壬午踏目百俵十口直御代官
承應元年壬辰　歿

某　小宮山一郎兵衛
為九安重養子

某　小宮山一郎兵衛　無嗣
實所
承應二年癸巳二月五踏目同三年甲午為勝孝行

重満　小宮山瀬兵衛

為小十人筒井内蔵允場百俵十石後以病終為小普請

堀田河内守組　元禄九年四月　没

某　小宮山三郎兵衛

生母

延宝元年癸丑二月九日部屋住為小十人組百俵十

貞享元年甲子二月九日先亡出家名紀心

小宮山清九郎衛門　某　小宮山吉兵衛

生母

生母

元禄九年丙子十二月廿日　宝永六年己丑四月六日部屋住小姓

百俵十石為堀田河内守組　山内安房守組後特為小普請

同十年丁丑七月廿三日為小十人組　信濃守組

享保十一年丙午　没

某　小宮山達之丞　清四郎

生母

享保十二年丁未十二月廿五日百俵十石為小普請

信濃守組　同十二年戊申十二月廿六日為小十人落合御八組

同十九年甲寅四月九日　小五郎　御近習番

元文二年丁巳十月廿日　断絶

昌満　小宮山新八郎
為同姓大郎左衛門昌秀養子

藤原
小宮山　本国甲斐　後上藤　松平美

小宮山淡路守宣武男
小宮山　喜左衛門
宣正
享禄記前

宣重　小宮山　六郎右衛門　子孫記前

宣勝　小宮山喜左衛門
妻山本弥右衛門忠房女

生男子

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

慶長二十年乙卯十二月八日殁于桃雲道九

治秀就
昌興　小宮山傳九郎　致仕少庵

妻　河野權右衛門通重女

慶長十六年辛亥生武州高麗郡
寛永三年丙寅正月殁年七十六
法号参寺　高岳院殿梅林
妙香大姉

慶長十三年戊申四月廿四日叙士上總刑部小輔
寛永元年甲子新規為雁間御番　寛永九年壬申為
大御番　保科肥後守正之組　寛永十年癸酉為
万治元年戊寅二月廿三日為同組頭　寛文元年辛丑十二月廿三

加二百俵　凡賜七百石　廿三　為小姓

致仕号少庵　元禄九年丙子七月十二日殁
年八十九葬宗参寺号豊明院殿養德祥安居士

宣行　小宮山四郎左衛門通重女

妻　河野權右衛門通重女
大所表　法号孝雲

寛永十七年庚辰正月生江戸
万治二年己亥七四部屋住為大御番池田出羽守組賜二百俵
天和二年壬戌十一月十八家督七百石
元禄八年乙亥十二月十二日殁年五十六葬宗参寺
号蒼龍院殿牛海探玄居士

某

小宮山傳五郎
母同

寛文九年己酉生江戸
延宝元年癸丑卒四十六年七
葬同寺子華影恵山童子

昌胤

小宮山甚五郎
母同

寛文十二年壬子生江戸
元禄六年癸酉十九部屋住
正徳元年辛卯十廿三歿葬寺
于心銃院能観月日誠大姉

寛文十二年壬子生江戸
元禄六年癸酉十九部屋住
高大御番

同年七月九賜二百俵同八年乙亥七月十五日七百石蒙御
御老中列坐阿部豊後守傳ゝ正徳二年壬辰正月朔日
寺侍三番生病辞為小普請相果修理之勝
同二十年乙卯六月廿四歿年六十四葬宗参寺
号瑞雲院能参清体居士

宣為

小宮山九十郎
母赤井平右衛門時之女
延宝九年辛酉生江戸
元禄二年己巳十月廿九歿年九葬同寺子白堂幻光浮童子

昌勝　小宮山平八郎
妙岡部

妻下條長兵衛信貞女
延享元年甲子十二月生　延享五辰年十五歳　妙岡寺
享保元年甲申十二月生　于提鏡院殿明顕自照大姉
同二十年乙卯九月歳日七月　于菊岡御老中列座本多中書
傳之為小普請　初本修理又配同年十二月　御禮献銀
同廿一年丙辰二月為大御番　貢国情寺組
寛延二年庚午七月廿五日　宗参寺
于国威院殿寛相了覚居士

昌有　小宮山文次郎
壇阿信　孝　右衛門正顕三男
妻早川平四郎定富女

明和四年十月十六日　于花岡寺
天明六年丙午十月廿五日　祇月自国大姉
号快自院殿法壽日鏡大姉

主計
寛延二年庚午十月　歳日七月　為小普請
宝暦五年乙亥三十六八月十六日　為大御番水野
山城守組　天明五年己巳　初番　和泉守組
組頭人同年　死時　駿府騒動
于忠雲院殿武海玄切居士　十六日年

昌四郎

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

昌義　小宮山左衛門尉　四郎左衛門

女

生江戸平八郎

天明五年巳十一月廿日七百石苟而御老中到堅田沼

主殿頭傳馬中書詰

同年十二月九日御目御禮献銀馬代

昌方　小宮山又二郎　庄九郎

妻　同

妻　福井重左衛門源正則女

寛保元年辛酉八月一日葬同寺

号長應院殿保壽快永大姉

承應二年癸巳六月五日生江戸

寛文十二年壬子五月六日新規為御小性組伊澤主水正徳

賜廷寶元年庚申六月六為御小納戸同年十二　左衛

同九年辛酉五月十三加役三百石賜

天和元年辛酉六月十八　御免為中奉

同二年長師元御小性組大久保豊前守組
元禄八年長 為相門御番 同年十 為御小御戸
同十年十正 為道奉行 正德二年長正十 為御目付
同三年長四月九為 林中裏附加秩凡賜右千六百
同年二十五年謝之献金馬代 京都御暇叙諸大夫改無位寺
享保八年長卯三十九 彦府告老勞 數年勤功以賜
賜時服二吉 芙蓉間御老中列坐 勝敦為 者傳
為 寄合 同年七廿三致仕 同十六年 八十二年 年七十九
葬 宗彦寺 号紅山院殿 従五位下前刑部大輔 寿源 孝大
居士

修喜 松平十九内匠頭女 正德二年長十廿三及年五右
寄同寺 号耀明院殿正善清 長年

昌章 小宮山喜之助 庄九郎
母福井十九衛門正則女

寿伊 伊規伊規寺負 救女母伊規作十郎負女
宝暦 正德二年長 二十九及年 同寺
号香壽院殿 高堂 英埜大姉

元禄二年長十八生
正德二年長 二十九 御目見献銀馬代
享保八年長 七廿二 家督千三百 外方知四百 於兵
同姓彦次郎昌房 苟間御老中列坐 松平老近 賜傳
為中奥詰
同九年十長十九為 御小性組近藤陸路守組
延享五年十長 正廿 政年五十九 葬宗彦寺
号泉春院殿時雲道閑居士

子 宮戸 元禄七年長 奥八 年二号緑草 智芳 室女
久福 元禄九年甲子五九 子 宗 宗長 長夏 室女

女子

昌房　小宮山彦次郎
母同
元禄十三年庚生ル
享保八年癸卯七廿二歿今知四百石於菊門御老中
松平左近将監傳ヘ為中奥付後為安九御勝物
同十五年庚戌十一月廿三日寿家参寺

某　小宮山勘之丞　元禄十六年三月廿三日　宝永五年五月十六日　享六
号捨光清林寺子　喜左衛門

昌一　母同
宝永三年丙戌十二月生ル
為同姓傳右衛門昌豊養子

昌張　為昌房養子
母同

昌常　小宮山右之助　伊右衛門
母同
宝永七年庚寅生ル
元文四年己未九月七廿七歿年三十　寿家参寺
号了頂院殿雄山玄英居士

昌張　小宮山金三郎
安房ル
妻櫻井河内守泉英女
生ル

享保十四年庚申十二廿七歩目四百石菊門而御先列堅
為年伊豆守傳之為十善寺久留島敦馬之配
同十六年辛酉九十歳年　葬宗参寺
号真蓮院殿壽源了得居士

昌則　小宮山乙十郎　利助
　　貞女
　　妻山本新五左衛門道茂女　生三男一女

享保二年丁酉生
同十八年癸丑十二歩目四百石菊門而御先中列堅
松平左近將監傳之為十善寺久留島敦馬之配
元文三年戊午十一月十八歳　宗　若近習番

寛政三年辛亥正月廿歳年　葬宗参寺
号寛養院殿南嶽大榜居士

女子　阿部助九郎信清妻

昌義　小宮山左九郎
　　妻
為同姓吉之助昌好養子

長則　小宮山義藤次　利助
　　妻山本新五左衛門道茂女天明五年乙巳十月廿日同寺
　　号天性院殿秀山夏松居士
　　妻佐野傳右衛門昌量女

生母
文明　年

安永三年甲午十月廿日　同五年壬申
三月生　同七年己亥七月廿日
北之舞　同寺号秋輪院殿高嶽
姉　葵大姉

部屋住為御書院番賜三百俵
天明七年丁未六月廿六日為御小納戸　同八年戊申三月廿一
御免為寄合
寛政九年己巳正月廿日小納戸改役助

女子

細井梅之助正敬書

小宮山利十郎　始英之助

女子

女子

安永五年甲申二月生母
寛政　年　依病執居

女子

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

小宮山義忠次　筑前守

女

昌好　小宮山喜之助　庄九郎

実平右七之助　孰賢二男

実　甲河野権九郎通義

享保十三年戊申生江戸

寛延元年戊辰五四歳目千五百石為小普請門番左京之助

同二年己巳三廿三為御書院番筑伊賀守組

同四年辛未六十四歳年三十四　寄宇参方

号霊源院殿宗岳左勝居士

女子　喜稲子

女　伊勢伊都守貞敬士

享保十二年丁未六月二生

寛延二年己巳六十九歳年九三

昌義　小宮山庄九郎　始清吉

実同姓金三郎昌張二男

実母櫻井河内守政英女

寛延四年辛未八月廿二日為小普請川勝左衛門孫子

宝暦二年壬申六月為御書院番阿部出羽守組

同四年甲戌三月廿三日致隠居

于龍了院殿規外維範居士　葬京泰寺

昌房　小宮山浅之助　織部

実阿倍忠右衛門正題三男

実母櫻井河内守政英女

壽同姓元庄左衛門昌義妻

生

宝暦四年甲戌六月廿日于二百石為中奥番

同十年庚辰六月十日設樂善左衛門孫為御書院番

大久保[illegible]同年九月十六日

悔信[illegible]御門御小納戸同十一年辛巳八月一日御免為寄合

安永九年庚子四月致仕

男子　養子昌房

女子　[illegible]

昌周　小宮山貞之丞

母　同姓居左衛門昌義女

明和五年戊子九月十五日生

安永九年庚子四月廿日于二百石為御小納戸

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

[illegible]年間[illegible]為[illegible]後為[illegible]小性紀山田肥後守
寛政[illegible]年[illegible]六十六歳[illegible]六歳[illegible]
[illegible]明院殿一閑[illegible]無[illegible]

妻 [illegible]大隅守 [illegible]
女子 為大同伊[illegible] 養女

昌孝 小宮山磯五郎
[illegible]井庄之助[illegible]
[illegible]
妻養父昌同女

生[illegible]
寛政[illegible]七十為[illegible]養子[illegible]
為[illegible]

文化[illegible]年[illegible]三廿七致仕

女子 母土岐

養子昌孝 妻

女子 母同

昌 小宮山磯次郎
母
生[illegible]

文化八年辛未三月七家督千三百石御小普請

加賀正
宣房　小宮山七郎右衛門　喜左衛門　号逸軒

妻　山本孫左衛門忠春女

生母　妻　[illegible]

寛永四年丁卯祖父跡目四百五十石外分知三百石旗同姓
昌興給与大御番
寛文四年甲辰六十一為大御番大久保右京亮組與頭
天和二年壬戌五月一加二百俵凡賜八百五十五石
貞享三年丙寅閏三五告病辞為小普請
元禄元年戊辰十九致仕引髪改逸軒
同十四年辛巳三十九従弟　[illegible]家養子

号雲光院殿鶴巣居士

女子
母同

福井助兵衛正重妻

宣安
母同

小宮山四兵衛　姓庄五郎　後六郎右衛門

生江戸
寛文二年壬寅十九新規為小十人組
賜百俵　十人扶持
元禄九年丙子二十四歿年

小宮山六大夫

姓新宮

純
母

生江戸
寿夭
元禄六年癸酉十二九部屋住為小十人組内藤十兵衛組
賜百俵十口同九年丙子又歿同高不願跡目

昌満
母

小宮山新八郎

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

生母 享保三年代改生
享保十九年甲寅十一七歩目百俵

日翼 母 小宮山新六郎

生母
享保十九年甲寅十一七歩目百俵 十石 菊門御老中
小宮山甚兵衛之守傳之為小普請
寛保元年辛酉九十九駒木根肥後守供時為小十人組

書写 新発田 壽 大岡助九郎義通女

中九四番
宝暦十年庚辰十一十一告病辞為小普請設樂善元門
又配明和三年丙戌十二十九致仕

隆昌 母 小宮山理三郎

生母
明和三年丙戌十二十九家督百俵十口菊門御老中
列坐阿部伊予守傳之為小普請設樂善元門
安永元年壬辰十一十為小十人九番組

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

後綱為士長清

昌

小宮山左次郎

母

生涯
文化四年丁卯五三跡目百俵十口為小普請戸田中務殿
文政二年卯 歿

昌

小宮山富三郎

實
妻母

生涯
文政二年卯三四跡目百俵十口為小普請

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

女子
母

宣明
母同

小宮山傳三郎

菊之間詰荒蒔
寺屋代越中守忠正女

慶安五年辰十月一日卒同寺
于玉相理金梓尼

寛永十八年辛巳生江戸
慶安四年辛卯七月十五日御目見万治二年己亥七四郎屋
敷為大御番池田出羽守組同三年庚子従大坂在番別賜
二百俵元禄元年戊辰十九家督百五十五石

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

同二年己酉正月八日御禮献銀過代同年二月廿五日
書替奉行同四年辛亥十月九日書替奉行
同十年丁丑十二月四日大御書組頭同十四年己卯十月九日
病辭為小普請松平主計頭組宝永四年丁亥八月七日
年六十七葬同寺号德隣院義山宗忠居士

女子　天明六丙午年八月廿二日夭同寺葬
号現瑞禪童子

女子　太田市兵衛童則妻
母屋代越中守忠正女

小宮山喜三郎　傳右衛門

母同

妻　小野清組同友田野守支配
小野玄蕃忠利女

宛文十二年壬子生江戸
延宝九年辛酉三月朔日　御目見元禄元年戊辰百十二九
部屋住為大御番高木主水正組賜二百俵
宝永四年丁亥十月九日病暇八百五十石
正德元年辛卯十廿一為二條御門番頭享保十年乙巳五月
依病辭牧野河内守備之同年六月廿七日歿京同十七日葬
同十九日為小普請月番被仰付
宝暦四年甲戌二月十九日隱居頭
于仙岳院殿高山顕日圭寿居士

女子　大御番土屋肥後守組
母同　桜井宇右衛門信茂妻

昌元　小宮山新之助　長三郎

母小野玄蕃忠利女

生母　宝永七年庚寅　御目見寄　享保十六年辛亥八月廿八隆

惣領明和九年壬辰九月廿日

昌一　小宮山傳八郎　喜左衛門　内膳

寅　母　時代裏附　明和四年丁亥　明和七年庚寅

妻　竹本氏　小菅長徳組奥津安右衛門主殿寺記　右衛門正武女

後妻　小菅長徳組奥津安右衛門主殿寺記　左門勝長女　寛保二年壬戌　寛政元年己酉七月廿日

宣茂　初之助　仲之助　七郎右衛門

文右衛門　母世　信方　母子　女子

鉞之助　母世　寛政六年甲子十月廿六日

青田善大夫忠次妻

安貞　鉞之助　母世　寛政六年甲子十月廿六日

集　小宮山吉太郎

安永二年癸巳六月生　江戸

同三年甲午六月十八日　文政元年戊寅　帝国寺号掘庵　法名多

集　小宮山

天明六年丙午二月八日

集　小宮山仙之丞　天明八年戊申五月十六日生

寛政元年己酉　帝国寺号松山月枝

小宮山八五郎　母　右衛門

佳重　小菅長徳組奥津安右衛門主殿寺記

寅　加藤甚助　母　馬忠義女

妻　養父　住　信方春女

安永二年癸巳十二月二生出ル
寛政四年壬子三十無嗣為猶養子相模和泉守傳之
同六年甲寅十一月七郎屋住為大御番近藤石見守他
同九年己巳五十六銘術　寛賜羽二重縮緬一反先
文化　年　為大御番組頭

女子　養子住重　妻　寛政八年丙辰十月八日歿
貫柔原伊豫守盛貞女

藤原
小宮山　本國甲斐　紋　九曜違矢　籠目

小宮山八左衛門正尚
四代
正利　小宮山八左衛門

吉定　小宮山八左衛門　生甲斐
仕武田信玄勝頼
天正十年三月勝頼亡後奉仕
大神君賜采地三百石慶長十二年子未歿

正盛　小宮山因獄物
仕勝頼

子孫称小菅

吉次　小宮山長兵衛
生甲斐
天正十年癸酉八月奉仕
大神君慶長元年丙申光又而歿

吉成　小宮山長兵衛
生甲斐
慶長年中奉仕
台徳公賜寄知二百石　寛永元年甲子　歿

吉廣　小宮山十右衛門　十左衛門
生卒
寛永年為大御番植村兵部少輔賜二百俵並加二百石

合賜四百石後為新御番大岡忠正所組時
寛文三年癸卯　歿

某　小宮山權八郎
生卒　慶安元年戊子七十九歳
御目見　早世

某　小宮山伊右衛門　北山見城断絶
生卒
万治四年辛丑五月一日　御目見
寛文三年癸卯十九歳　仕為大御番松平忠延支組
賜二百俵　同年十二月二百石

女子

昌忠　小宮山長左衛門
母内藤修理亮清成女
生年
寛永四年丁卯始　御目見部屋住而為御書院番加之
甲斐寺組寛文五年乙巳五月廿七歿年　葬赤坂松泉寺
号良月院殿雲嶽高直居士

昌直　小宮山平十郎　三左衛門
母
生年
寛文三年癸卯十一月十九　部屋住為小姓組
同年丙辰十二月一日三百俵　相模下総後病状為寺詰
大久保玄蕃頭組時　元禄四年辛巳四月十六歿年
葬松泉寺号寶参院殿禅心了源居士

昌好　小宮山長左衛門
母　寶
寶母

生年
元禄五年壬申七月廿二日三百石蔭而御先中列坐大久保
加賀守傳之為小普請大久保玄蕃頭組
同九年丙子四月廿四歿年
居住
葬松泉寺号雲心院殿一以宗貫

昌克
母同

昌克　小宮山八左衛門　主膳　致仕　仙齋

安　寅母

寛文九年己酉生江戸
元禄九年丙子七月朔日三百石於菊間御老中列坐阿部
豊後守傳之為小普請大久保玄蕃頭組
宝永元年甲申五月五日為御書院番松平式部大輔組
享保十年乙巳五月二日告病辭為小普請小田切喜兵衛支配
同年十二月十六日致仕同十八年癸丑九月二日卒六十五葬松泉寺
号松洞院殿一翁仙齋居士

昌長　小宮山小次郎　陳一右衛門　八左衛門

寅　注田惣兵衛直好二男

安人母家女
・妻　注田肥前守忠位妹

生江戸
享保十年乙巳十二月十六家督三百石菊間御老中列坐水野
和泉守傳之為小普請小田切喜兵衛支配
同十九年甲寅十二月二日御書院番大久保豊前守組
寛延二年己巳三月六日病辭為小普請小田切七左衛門支配
同二年庚午七月致仕同年九月卒　葬松泉寺
号法泉院殿秋齋正音居士

女子　母注田
童形

享保十七年壬子正月六日　高寺
与春春惠柳童女
延享元年甲子五月九日卒同寺
号涼室徹影童女

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

昌雄

小宮山想太郎　陸右衛門　致仕普泉

實川井彦五郎久守男

實女薩田想兵衛直好女

妻　御小性組　柳澤右近信高女

寺保五年庚子六月二日没享年

寛延三年庚午七月家督三百石菊門帯御老中列坐本多

伯耆守信之邸中普請奉行四七九衛門文配同年十一月四日

免御小性組出田能登守仕安永八年己酉十六歳移　御書院

同年十二月老病辞為小普請小宮山善兵衛主税

天明元年辛丑四月致仕号普泉同二年壬寅四月六歳年卒

葬松泉寺

号茅雲院殿南嶽普泉居士

當恒

小宮山金九衛門

實　御徒組前島勘三郎茂延二男

實女家女

宝暦十四年甲申四月無嗣養子安永四年乙未養成

定顔

小宮山富次郎

實諏訪訥三之助定年二男

昌亂

小宮山八郎兵衛　妻膳

實松平勝兵衛房家二男

實姉内藤左七庫尚女

妻養父昌雄女

宝暦三年庚酉十月生江戸
安永七年戊戌十七歳養子酒井飛騨守傳之
天明元年辛丑八月家督三百石御門番御老中列坐田沼主殿頭
傳之為小普請水野清六郎配同二年壬寅十二月為御書院番下番
同野備中守組寛政二年庚戌四月移御先手長谷川伯耆守組
同四年壬子九月病辞安藤對馬守傳之為小普請
浅野伊豆守配同五年癸丑十二月致任

養子昌龍 幸
母柳澤右近信高女

女子 母同

小宮山儀三郎

貞人 大御番 佐橋儀兵衛佳方二男
実母 御小姓 細井金右衛門母利養女
妻 養父昌龍女

明和八年辛卯三月八生江戸
寛政五年癸丑二月廿九元服翌年
同年十二廿一家督三百石安藤對馬守傳之為小普請
浅野伊豆守配同七年乙卯五月七為近藤登之助世話
致娶月俸十石

女子 母同 昌雄女

養子 昌長孝

女子 母同

桃 藤十郎 妻雅縁

女子 母同

小島氏次郎 宣喜妻

清和源氏或藤原姓

小長谷 本國駿河 紋上門原藤

道友 小長谷長門守

享祿三年庚寅生駿河

自先祖世仕今川家居住駿河

永祿年中今川氏真没落而仕武田信玄領土岐郡内

信玄歿後仕勝頼其後奉仕

大神君賜駿州内采邑而有誤没收蟄居駿州内

天正十九年辛卯八月歿年六十三或本十二

子常永

長宗　小長谷長門守
仕今川家後者仕
大神君慶長十五年辛子十一月廿八歳号大慶院殿心国常者士

長吉　小長谷市兵衛
生駿河
又長宗同者仕
大神君慶長十七年壬子六月十五歳号白雲院殿涼嘗久居士

女子　小長谷賀兵衛時次者
次郎右衛門時安

時元　小長谷四郎右衛門
母

生駿河
慶長十七年壬子歳月五月後為大御番植村出羽守
寛永年為同組頭同十年癸酉十二月十九加五百石
正保二年乙酉十一月六歳
葬宗参寺

時政　小長谷伊兵衛
母

生駿河　寛永三年丙寅部屋住
正保二年乙酉十二月十九歳月千石
寛文四年甲辰九月廿四歳
雲高会院殿大居士

寛文二年壬寅十一月廿六歳
母者昌院花岳宗栄大姉
葬参寺号空性院殿
寛永三年丙寅部屋住為大御番二番同九年癸酉為新番
中根次郎左衛門組

時真　小長谷四郎左衛門

母

生年
寛文二壬寅年　九十九歳　蘇生寺号心巷公西屋

小長谷權右衛門

母

生年
寛文四甲辰年十二月十四日　于石菊門而依老中稲阿部豊後守
傳之為小姓組

政友　小長谷六郎左衛門

寅
寅如

生年
元禄三庚午年　九歳　蘇智于石菊門而依老中列坐戸
山城守傳之為小姓組　同年十廿三継目御礼献金馬代
同八年乙亥　六十一　為御書院番　大久保次郎左衛門組

正教 ㊀ 小長谷 主税

元禄十五年壬午五月四日歿 寺号 縁樹院殿端光宗董居士

友長 ㊀ 小長谷喜八郎

寅 ㊀

生母

宝永元年甲申二月二十三日 于石蔵 河内寺傳之為中書侍者 島肥前守組

正徳三年癸巳三月六日 為御書院番 阿部遠江守組

享保十六年辛亥六月九日歿 寺号 霊洞院殿雲峯隆渡居士

政芳 ㊀ 小長谷喜太郎

妻 久留十九衛門 ㊀ 中山五郎左衛門 ㊀

正徳二年壬辰生 享保十五年庚戌 八十九部屋住 為御書院番 阿部遠江守組 賜三百俵 同十六年辛亥九月 師日于石蔵 河内寺傳之 同年十一月二日 御老中 酒井雅楽頭 献銀馬代 同十九年甲寅正十二 於吹上大配的 時服二領 十三日 賜金二枚 同二十年乙卯正十一 吹上大配的 上覧 十三日 賜金二枚 同廿一年辰正十二 吹上大的 上覧 十三日 賜金二枚

元文二年己巳正十六作日吹上而大納言覺賜金二枚
同三年九廿八同物緒了式大納言覺同九九賜時服二
同四年己未正十六吹上而大納言覺賜時服二同十八賜金
二枚同五年庚申九十日昨日吹上而関白覺賜時服二
寶暦二年壬戌正十一吹上而大納言覺賜時服
本多中務大輔宗隆隠居見物出吹上同十二賜金二枚
寶暦八年戊寅十廿八馬御供組頭同年十二十八衣
同十三年癸未八二攻年五十二為宗参寺
于源昌院殿機外戒輪大居士

政房 女

小長谷喜太郎

生母

寶暦十三年癸未十 源日千石

安永九年庚子十一廿三歿年
于覺了院殿法身無相大居士 葬宗参寺

女子 嵩

柳田信濃守 寿

中山五郎太夫

妻

女子 妙岡

天明六年丙午五廿三歿年四十
于法華院海應量龍禅尼

寛吳服問屋新髪

女子 妙岡

金代

政良　小長谷新三郎　和泉守　伊豆守　長門守

貴谷河内守政氏二男

実子女家

明和二年乙酉生出　小名七三郎

安永九年庚子十二月　源四郎千丸

天明元年辛丑四廿一為家老御小納

同四年甲辰十二月為同御中住同年十月　移　御本丸

同七年丁未二十八　秘諸大夫役和泉守能登守

寛政二年庚戌五月十九六為御徒頭同四年壬子三月為西御目付

改和泉守同六年甲寅十二月　移　御本丸御目付

享和元年辛酉十二月　移　御書院番行

文化五年戊辰十一月六為京都町奉行

政　小長谷新三郎

一男

生出

文化十一年甲戌十二月廿四跡目千丸

改長門守

同

清和源氏
始知為
文徳
孫

紋上藤　二葉柏

小長谷與左衛門

一

妻内藤平十郎相次女
再妻花井勘左衛門定安女
寛文元年卒　六十五歳

生涯
寛永九年正月　御目見　同年九廿四　新規為小十人
組　賜百俵十口　唐五三年度貢九四為同組頭　加二百俵
万治　年以病絶為小姓　寛文三年度卯為大御番
延宝三年度卯五十四為御具足奉行
元禄二年己巳九月病絶　為中奉書
同三年庚午四月卒　歳
寺　赤坂浄土寺

子良閑院殿休蓋長者

子 村瀬六太夫 妻

子 南條十兵衛 大坂城代番衆 陸奥守

小長谷三九衛門

女子 実松平與兵衛 直綱三男

実母 布施孫兵衛 重直女

妻 養父知満女

生江戸

寛文二年養為舞養子 同四年中長谷 御目見

同七年丁未十一月廿一部屋住為大御番戸田淡路守組 賜二百俵

延宝元年癸丑十二月暇新御番 遠山本九衛門組

同年十二月十八日足五十俵 元禄三年庚午八月廿日三百俵

同十二年己卯閏九月為同組頭 同年十二月廿二日加賜合百俵

改地方上総刑武射郡蓮沼郷島九賜五百石

同十四年辛巳十一月廿五日病辞 為小普請水野長門守組

享保四年己亥八月為松平帯刀配 同十年乙巳六月廿六日

等淨土寺号體量院殿性山道室居士

女子 養子友良妻

母花井助九衛門室女

元文五年庚申七月廿五日 同寺

聘知 小長谷十三郎 十九衛門

母同

母 [illegible] 源氏 時高養子

女 [illegible]

大岡新九郎 後面嶽 [illegible] 加藤九郎兵衛尉 [illegible]

時常 小長谷三郎左衛門 與左衛門 與五左衛門

妻 大御番 加藤九郎兵衛尉則道 [illegible]

妻 [illegible] 延享二年乙丑十二月十九日 [illegible] 松源寺

生没 元禄六年癸酉十二月九日 [illegible] 大御番 [illegible] 代 [illegible] 賜

二百俵 同十六年癸未五月 [illegible] 御番 同年 [illegible] 御中納

生没 永四年丁亥七月廿九日 [illegible] 寺

[illegible] 雲院殿浄室清岸居士

女子 野邊 數馬 正博妻

女子 加藤九郎兵衛尉 [illegible]

女子 [illegible]

生没 永四年丁亥七月十六日 [illegible] 松源寺

[illegible] 蓮寺

友信 小長谷五郎右衛門

妻 [illegible]

[illegible] 寅年 [illegible] 生没

享保十年乙巳九月二日 [illegible] 五百石 [illegible] 嫡男 [illegible] 配

同年十七歳 [illegible] 月 [illegible] 知行 [illegible] 上線 [illegible]

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

長橋卿推薦 延享四年丁卯六十六歳
宝暦二年壬申五月廿五歳 年六十七 葬泉涌寺号顕明院殿
融誉覚法居士

友祥 小長谷 五郎 三左衛門

実松下左大史 妻 大炊三男
実母 真田内蔵助信記女

享保九年甲辰九十生歳
同十九年甲寅十歳 為養子 延享四年卯十六 右大弁
五百石 為小普請 長谷川久之助 文化 同十九 他日御遣
銀集代 宝暦二年壬申九十 為大御番 久留島信濃守
同六年丙子二九九 為新御番 駿木根肥後守

同十三年癸未七月 婚 知行上総 和泉 武蔵 摂島
明和七年庚寅十十四大納言 上覚賜 時服二
安永五年丙申日光山供奉 天明元年辛丑十八 病辞 為
中普請 水野 方文 同七年丁未九十九歳 年六十四 葬
浄土寺号 得善院殿 親誉友祥居士

友貞 小長谷 慶次郎 藤十郎
実 妻 石野 平次郎 二男
実母 安女
妻 長文 友祥女
再妻 大御番頭 槽 摩 次郎義敷女
享和二年壬戌四十歳

宝暦七年丁丑七七生歳

安永三年甲午二世無後堺養子同月七年戊戌七九部屋住
為大御番永井伊豫守組賜二百俵天明七年丁未十二月
暇同五百石上総同世子継目御礼献銀馬代

女子 母家女 幸澤 養子友貞 天明元年辛丑世七段弁同寺
号光頭院魂妙清国大姉

某 小長谷兵部 母友祥女 安永九年庚子三月九日寿同寺

友德 小長谷 某次郎 某左衛門
母同 妻 大御番 仙波阿左衛門 種雄女
安永九年庚子四十九生江戸
寛政八年丙辰七月 御目見

女子
母同

若佐松之助　勝政妻

友之
小長谷新三郎
母糟谷伊豆守義教女
寛政六年甲寅三十九歳

友次
小長谷五郎吉
母同
寛政五年癸丑十三歳

友壽
平岡本次郎
母同
為平岡筑前守書山養子

友高
小長谷竜之助
母同
養子
左四内義頭子流陽居
平井内膳

女子
母同
幸和之助妻

常春一
般若長谷　四度
依病隠母
惣領文政二年乙卯四月坊官

友
小長谷藤十郎
母同

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

長門守通友　紋　花輪違　五七桐　二引龍　成羅藤　左之

正榮　小長谷五兵衛

天正十六年戊子土佐州

慶長年中奉仕

台德公為大御番賜二百俵寛永十五年戊寅十月

時相番四人又進拔而一同為改易地居半州

慶安三年庚寅九月九日歿年六十四

正治　小長谷伊右衛門

如

元和九年癸亥部屋住為大御番賜二百俵

寛永十年癸酉二月加常州信太郡領大宮神宮寺邑

同十四年丁丑四月致

時綱　小長谷勘九衛門　始傳兵衛

生甲斐

寛文三年癸卯七廿新規被召出賜二百俵為小普請

同四年甲辰五　為大御番同部丹波守

貞享四年丁卯六　為駿府御代官元禄五年壬申六　婚

豊後日向内同十一年戊寅以病辞為小普請

同十二年己卯六　為同部丹波守組同十二年己卯七　為伊豆

御代官宝永元年甲申六以病辞為小普請大島肥前守

享保三年戊戌十六致

時庸　小長谷勘九衛門　始傳兵衛

母　妻鈴木惟右衛門　女

時尹　小長谷勘九衛門　始豊次郎

母　鈴木惟右衛門　女

妻　杉浦善兵衛　女

生母

元文三年戊午十二月朔日二百俵為小普請鈴木惟右衛門次男

寛延二年己巳五六為大御番ロ通江守組

宝暦四年甲戌六廿四為甲斐御人同十一年辛巳八三為

生母

元禄八年乙亥六廿八始御目見宝永六年己丑四六部屋住為

大御番屋代越中守組賜二百俵享保十六年辛亥九十九為

田安徒頭元文元年丙辰八三病辞為小普請鈴木惟右衛門

寛延同三年庚午九十致

御老拂方御納戸 同十二年十二月廿三歳九附
同十四年甲申四月九歳

時殿 妻同 宝暦 年刑出 四月廿大番

中長谷友三郎

時 寅歳 浪速奉行 寿

小長谷源次郎

女子 養子嫁

女子 新家奥光弟 寿

新家伊助 寿

道時 小長谷 勘九衛門

始長次郎 又五兵衛

寅山上長九衛門勝住 寿

寅母 先住家中 新家市正 女

妻養之 時甲女

生江戸

宝暦十三年癸未九大無猶 養子秋元但馬守傳之

明和元年甲申七四歳目二百俵 若年寄御老中 別要 相手 監傳之

為世嗣 土役 大御番 同四年十月 大番

守組 天明元年 七六 為新御番 大野 阿波守組

文化五年 八月 十一十八歳年

女子 母 形部 善三郎 養子 道時 為 善三郎 寿

小長谷山十郎

妻 桜花友之助 女

生涯
文化二年乙丑四月二日依病死 陸奥国堀田振淳寺傳之

子

女 桜花友之助 女

小長谷恒之助

時敏 実 実母

養父道時女

生涯
文化五年戊辰五月八日為幼養子ニ井伊兵部大輔傳ス
同年十二月五日跡目二百俵苗字御免申渡ス 青山下野守
傳ス 為中普請 不十二郎文記

五

女子　養子時敬妻
如同姓勘左衛門道清女

正則　小長谷傳十郎
女

生年
寛永九年壬申部屋住為大御番賜二百俵
同十四年丁丑歿日二百石明暦元乙未年九廿六歿

東　小長谷外衛　部屋住為御奥番
女　小長谷平大郎

正晴
女
生年

明和元年六月十二日二百石為中書
万治元年閏十二月九日大御番
知行百四十石為御用地以十年物成詰賜
長樂寺御百七十石寄宮君宛
同十年閏十五日掛方御納戸
新御番仰付九月組替
為中書後堀田備前守同十三年
至永四年十月五日

時房 小長谷傳右衛門 始長年

母 妻加藤新右衛門正之女

出江戸
元禄十三年庚辰七五家督二百五十石 内五十俵 荻崎御番
別屋土屋相模守傳之為中書諸村越伊豫守組
同十四年辛巳二十為大御番池田書力組宝永三年丙戌八五
告病辞為中書諸久貝因幡守組 正徳三年癸巳三十六為
掛方御納戸 享保元年甲申十九告病辞為小番諸松平伊豆守
組同七年壬寅五二致

正隆 小長谷 邑平 伊兵衛

妻 加藤新右衛門正之女

生江戸
享保七年壬寅八二百五十石 内五十俵 芝御門番御老中

列堅戸四山城守文配為小普請能勢出雲守安治
同九年丁辰十九為大御番永井播磨守直清同十二年丁未三十
以病辭為小普請瀧川讃岐守文配元文四年己未十二九為
大御番村木和泉守組寛保元年辛酉六月八日病辭為小普請
大同忠四郎文配寛延元年戊辰四二致仕
明和二年乙酉六十七歿

正喜　加藤平兵衛

為加藤喜兵衛　妻子

女子　母同　夭

正武　小長谷織部

實菅沼宇平治　二男

實母

生沼戸

延享五年戊辰四二家督二百五十石内半俸若年寄阿部伊勢守
列堅本多伯耆守傳之為小普請大同忠四郎文配
同年十二月二為大御番有馬備後守組室層四年己巳元殺
新御番高井左右守組同八年戊寅四十二病辭為小普請
田中出羽守文配明和三年丙戌十二十九致仕
同七年庚寅八十三歿

正道　小長谷二藏　傳右衛門　左外衛

實飯空　内藏助

實好　家

生江戸

明和三年癸酉十二月十九家督二百五十俵蔵門番

御先手弓組阿部伊豫守傳之為小普請而橋大膳支配

同五年戊子三月為大御番城田出羽守組　同七年庚寅十月六

為新御番本多[illegible]家督　同八年辛卯九月西丸病絶為小普請

波邊圖書支配安永四年乙未四月二為新御番植村丹波守組

同年十五日病絶為小普請岡野外記支配同年辛卯六月六

為大御番牧野伊豫守組寛政八年丙辰七月三日病絶為

小普請南部左兵衛支配同十一年己未七月六新組

文化四年丁卯十月十日歿

正房　小長谷元吉　傳十郎

母

生江戸

寛政十七年乙未七月六家督二百五十俵蔵門番

御先手弓組太田備中守傳之為小普請西丸徒組

同十二年庚申正月為大御番高木紀伊守組

文化六年己巳十二月歿

正成

小長谷佐三郎

須飯高加兵衛　三男

寛政四年壬子生

文化七年庚午三七歳目二百五十石内半扶持

牧野備前守傳之為小姓

小長谷陸右衛門

時章

永禄元年戊午生駿州

天正十年壬午父同孝任

大神君慶長五年庚子孝任隠居

同六年辛丑為大御番賜年俸三百俵大坂役伏見御番

寛永十年癸酉八十三歳年七十六葬牛蓑雲居山

宗参寺宗巌

時次

小長谷賀兵衛

天正十四年丙戌生駿州

慶長九年甲辰孝任

大神君為大御番賜二百俵大坂両度役供奉

寛永四年丁卯三廿六先父而歳年四十三葬宗参寺

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

号白峰院殿天定常清居士

妻同姓市兵衛時友女

時之　小長谷次郎右衛門　陟右衛門

妻同姓市兵衛時友女

寛長十年庚戌生

元和四年戊午　御目見　寛永三年丙寅部屋住為大御番

植村出羽守組　同四年丁卯賜二百俵　同九年壬申賜

御遠物金五十両　同十年癸酉二七並二百石　同賜四百石

寛文四年甲辰五十六為大坂御鉄炮奉行　同年閏五十五

御暇　延宝八年庚申六十六被召寄　娘奥山丈栖　享年七十一

女子　同

女子　同

女子　同

元和四年戊午九十五歳　同寺

号秋影院殿

南條小兵衛隆友妻

元禄六年癸酉六九歳　享年七十六

寺

田澤次左衛門

妻

時宣　小長谷次郎左衛門

妻浜寅子　新姓

生

寛文七年丁未十一廿一　初任為御小性組大草之膳番

賜三百俵　延宝五年丁巳十九九進物番　同八年庚申六十六

殺父仇奥山丈栖時顕不非　寅子同年九十一改易

貞清　永田七郎左衛門
為永田助之進　養子

時進　小長谷七郎兵衛
智

天正十九年辛卯生駿州
慶長九年甲辰始拜
大神君　同十二年丁未新規為大御番賜三百俵
同十九年甲寅冬大坂役伏見御番　寛永九年壬申賜
御遺物金五十両　同十一年甲戌二俵御番百疲年四十五

時任　小長谷七郎兵衛　始七之助
寛大同次郎兵衛直政二男
寛如夫新掃部定清子
妻同姓九郎左衛門重次子

元和七年辛酉生江戸
寛永十四年丁丑賜三百俵　同十六年己卯為大御番
正保二年乙酉六月八為御腰物奉行　天和二年壬戌十二月九
為御筆司奉行　元禄二年己巳閏正五疲年六十九　寿永疲
手河山浄土寺号梅嶽　忠翁義勇居士

時方　小長谷七之助　半十郎
母同姓九郎左衛門重次子

生卒
明暦二年四月十六日　術目見ヲ以テ御目付部屋ニ大御番同部
坪井清左衛門紙賜ニ百俵　元禄二年巳七十歳目ニ番俵
同年十八ヲ以テ清左衛門時ニ桐門御番同二年辰十二月
辞為小番請　同四年亥四月十八ヲ大御番
後吉病辞為小番請酒井小平次支配時
享保十二年丁未八月歳年　葬浅草寺
号忠本院殿孝岳道夕居士

時能　小長谷六之助　江右衛門
妻　同
女子
女子　同

宽文九年己酉十月歳年同寺
号景徹院殿紅山妙清禅定尼
百年安右衛門　妻

時
妻　小長谷七郎兵衛
妻　荒川八右衛門重政女

生卒
享保十二年丁未十四歳目三百俵為小番請酒井小平次
支配同十五年庚戌十二月七為大御番命橋宗夏守能
同十八年癸丑九月十八為元方御納戸同二十年乙卯三月
辞新御番倉橋内匠頭後辞為小番御隠居

真
妻　小長谷弥左衛門
妻　荒川八右衛門重政女

父家督三百俵為小普請金四郎
延享四年丁卯四月九為大御番水野肥前守組
寛延二年己巳八月廿三為新御番而不迄同年十一月廿七
出奔

子
女子

童次　小長谷九郎右衛門
生母　同
生年月

元和元年乙卯新規為大御番相村喜右衛門組場三百俵
寛永十年癸酉五月九場四百石同十八年辛巳以病終
小普請

時節　小長谷傳次郎　市郎右衛門　九郎右衛門
女

生年月
明暦元年乙未十二月廿一日
万治三年庚子二月七為大御番松平右近将監組
元禄四年辛未七月四為大御番組頭
後解為小普請久貴因情寄組
宝永六年己丑十月廿三致仕

時副　小長谷宮内　怡傳九郎

母　妻

生江戸

宝永六年己丑十廿三歳智井上河内守傳之為久貝因幡守

享保元年丙申閏二月為新御番稲生左衛門尉

同九年甲辰十二月十五移中九郎山内直頼組

元文元年丙辰六十二歳　法名浄土寺

号涼巌院殿風誉訓道信教居士

宝暦五年乙亥六月十一歳寺同寺

号浮清院殿田誉貞巌浄知居士

時　小長谷求馬

父　貞女

妻

生江戸

元文元年丙辰九二歳目四百石御門番御老中列

中務大輔傳之為小普請

同四年呉九十九歳寺　奇浄土寺

号信流院殿頂月巌山居士

享保廿七年壬寅七五歳寺同寺

号寶樹院松誉貞屋大師

時平　小長谷兵助　九郎左衛門

妻

生没
元文四年未十二月廿四日　百石　番頭御先手組
隠居傳之丞為小普請北条新兵衛
寛保二年戌七十六　為大御番之補出雲守仕
宝暦二年申　年六二条在番而歿

時明　小長谷大次郎

母

妻

明和五年戊子十二月歿
同寺与郎倫院殿玉蒼宗顔

生没
宝暦二年壬申十二　弥目四百石為中奥付
明和五年戊子十二月四神尾若狭守元恭時為大御番頭
阿波守組寛政六年甲寅六十八為同組頭
文化八年辛未　致事　浅草寺

時　小長谷市右衛門

母

生没
文化八年辛未七十九　弥目四百石

同十二年己亥八廿一歟田伊勢守配時 為大御番巨勢
月向 [illegible]

時尚 小長谷伊左衛門
母同

生沼
寛永九年壬申八月廿六日 御目見同年九廿四新規為小十人組
賜百俵十口同十九年壬午十二 加百俵 焼二百俵
慶安元年戊子為同組頭同四年辛卯十二廿一 加百俵
万治三年庚子十二 為御羽織奉行
寛文二年壬寅十 為桜田御鉄砲奉行後甲府副御城代
白金二年壬辰十二廿九 延宝五年丁巳十九 [illegible]
与緑甫院殿近侍寄合 [illegible]

正勝　永田孫次郎
母同　為永田孫次郎正次養子

小長谷竜之助　次太夫

時高
母同

生没
寛文四年甲辰誕生　御目見同七年丁未十一月廿一部屋住為
大御番場旨仰
延宝三年乙卯　致

時知　小長谷十三郎　十左衛門
実同姓與左衛門知満二男
実母花井助左衛門達子女

生没
延宝三年乙卯十二月十二日誕生　御目見二百俵為小普請
天和二年壬戌六月三為大御番

時光　小長谷左大夫
実太田原出雲守　男
実母家女
書養之時尚女
寛文八年戊申二為初出仕
延宝二年甲寅九月五部屋住為　桜田長御屋敷

天和二年癸酉二廿三歳
号陽岳院源入道鉦禅定門　葬源光寺

女子
女　養子時忠妻

時重　小長谷伊太郎　伊左衛門
母同姓時光女
妻　横山次左衛門一貫女

生没
天和二年癸酉　為祖父貞享三年丙寅二廿一歳
元禄十二年己卯十一月五日　為伊予守時重
陸右衛門尉　宝永元年甲申十二月
享保四年己亥為寺木左門十郎

享保十四年酉　三廿三歳

時興　小長谷豊之助　伊左衛門　与右衛門
母横山次左衛門一貫女
妻

生没
享保十三年戊申十二月大　家督五百石
酒井讃岐守侍之為中奥御番　番入
同十五年庚戌五月大　為大御番出番因幡守組
元保二年壬戌十　吾病辞　為中奥御番長谷川久子郎支配
宝暦二年壬申十二月廿四日致仕　有馬羽同四年甲戌中十七歳
葬浄土寺　号恢郎院殿理庵常鶴居士

女子 四人

大内義隆猶子 二上源九衛門 妻 安永八年乙未歿

小林又兵衛 妻 欽亞郎手女

小長谷権九郎 未馬

時雄 九郎 実戸田平八郎 弟

実母

妻同新朝夏 陸奥 明和八年辛卯二月廿五歿 浄土寺

与平江陸春月慈格大師

生四人

延享三年丙寅八十二無後養子酒井雅楽頭傳之

宝暦二年壬申十二十四家督五百四十俵菊間布衣老中列

西尾隠岐守傳之為中普請三枚宗四郎支配

同五年乙亥三十六為大御番酒井飛騨守組同七年丁丑十七世

為新御番小笠原越中守組同八年戊寅十二五以病辞為小普

請戸田帯刀十郎左衛門守宮内少輔傳ゝ同十年己卯十一十三

為大御番稲垣長門守組明和九年壬辰九廿三病辞

板倉伊賀守傳ゝ為中普請奥右郎左衛門支配

安永二年癸巳十五九為新御番小笠原遠江守組田沼主殿頭

傳ゝ同年十二九執政被免

傳ゝ為小普請奥四郎左衛門支配

天明二年壬寅九二歿年 妻 浄土寺

可見隆院覚真品位居士

某

小長谷遠四郎

寅同姓時興男

寅切家女

生遠州

宝暦五年乙亥十二廿八為養子音尾陽守傳之

安永三年甲午七廿八駿府領千加納遠江守之乃大場屋

同年十二九遠島

時樞

小長谷伊織

姫伊十郎

寅土岐法眼守朋貝三男

寅女

壽養父惟九郎時雄養子

生

天明二年壬寅十二四跡目五百石傳蔵前門加御老中列座

杉平同方守傳之為中書侍八月勝權之助花同三年癸卯五月八

御目御獲献銀烏氏

女子

寅時興女

養子時樞

壽

天明七年丁未二六政安同寺

于法受院殿安養尼大師

女子

小長谷藤太郎　伊勢

生江戸
文化四年丁卯三五跡目
高家新御番

女子

寛政元年己酉七月廿五日
于客月露幼童子

小菅　本國上野　後

小菅　遠江守
信景　上総赤堀城主信北條家天正年者仕
大神君賜赤堀後七万石

某　小菅　大學　某　小菅又八郎
賜上総赤堀七万石　母三枚土佐守昌吉女
継又弥七郎
妻三枚土佐守昌吉女　早世無子断絶

女子　小宮山因獄助正盛妻

五重　小菅猪右衛門始鶴津後小宮山因獄
　　實小宮山因獄助正盛二男
　　實母小菅遠江守信景女
　　生者
　　絶又跡孝仕
　　大神君天正十年手授書

[illegible]

[illegible]

[illegible]

同年七月[illegible] 御入国時北条左衛門丈言来[illegible]駒

[illegible]島左[illegible]高元[illegible]年 命切[illegible]駒挑戦得[illegible]

大[illegible]尼有御感賜老[illegible] 御[illegible]同十二年[illegible]賜鮎澤

本領 御[illegible]印鮎澤若狭者[illegible]駒處元去[illegible]子由[illegible]

武田勝頼[illegible]国獄[illegible]神鮎澤[illegible]奥若狭由緒如斯

遺 [illegible]聽乃賜鮎澤之書右又[illegible]也如[illegible]白又[illegible]

大学同苗[illegible]同諸[illegible]中[illegible]氏

正重 小菅八左衛門 以領[illegible]小菅氏

生上州

[illegible]文[illegible]寿仕 妻三枝[illegible]兵衛[illegible]吉女

寛永[illegible]

[illegible]光[illegible]陸[illegible]

白德公元和九年癸酉為　駿河人納言殿寛永九年壬申
法長居御預之時被居同十年癸酉六月賜月俸廿口
同十二年　御免賜本知四百石　葬谷中
明暦元年乙未八月廿七歿
号圓明院殿法秋月居士

正武　小笠原右衛門　遠江寺
母三枚彦兵衛女　寛永十二年乙亥八月廿四歿葬同時
生江戸　号光景院桂室貞花大姉
明暦元年乙未十二月廿一歿　目四百石
為小姓組番行年十月賜御寄表

延宝元年癸丑十二月廿五賜金三枚時服二羽織
同二年甲寅四月九日度　御法事中詰上野勤御用以賜
金二枚時服二同六年戊午十二月廿七加百俵合賜上百石
同七年未十二月廿五賜金三枚時服二羽織同八年庚申十月廿七
賜金枚時服二羽織同九年辛酉九月賜金三枚時服三
羽織　天和二年壬戌十二月廿五賜金三枚時服三
貞享元年甲子十九加二百俵合賜七百石
同二年乙丑九月廿四為小普請奉行組頭加三百石凡賜
同四年丁卯九月廿一為御勘定頭加千石凡賜三千石
同年十二　叙諸大夫　改遠江守
元禄元年戊辰十一月廿二歿年
于葬峰院殿　葬同寺
観月日是居士

正矩　小菅　又八郎

生没

寛元文十二年壬子五廿二部屋住為大御番三枝摂津守組
同寄二大坂住番賜二百俵同十三年癸丑八月廿
延宝三年乙卯二廿二二條在番同四年辰五九日附
元禄元年戊辰十二十晦日二千石同五年壬申十廿二歿年
等同寺号了空院殿自性日真居士

女子　菅

寛永十九年壬申十二月九歿年
高林寺号外室正信子

女子　菅

寛永十七年庚辰廿歿年
号南室壽董信女

正照　小菅内蔵助　菅

生没

承應三年甲午四六歿
後者云山内伯人後加老賜七百石其後歿年

本多長作[illegible]
元禄九年丙子 正二位年
号源解院殿徹蟠性日輝居士
妻

寺采 三枝平六郎 寛文四年辰 六十六歳 葬同寺
三枝善右衛門守知養子 号清了院殿妙法[illegible]

正敬 小菅一学 新五左衛門
母

寛文二年壬寅生
元禄九年丙子七月晦日 七百俵 蔵宿番 御小姓
[illegible]

豊後守傳 [illegible] 為十五万石 [illegible] 号八左衛門
[illegible] 年 [illegible] 銀馬代 同十年 [illegible] 三十人扶持 [illegible]
[illegible] 伊豫守 [illegible] 新五左衛門 [illegible] 年 [illegible]
中年 [illegible]
寛保二年壬戌二十四歳 [illegible] 十二 葬同寺
号清雲院殿安室日閑居士

女子
母 [illegible]

正房 小菅八左衛門
母 [illegible]

[illegible] 年 [illegible] 葬同寺
号真月院殿後光如[illegible]

生江戸
寛保二年壬戌五月三日日七百石為中書侍士座平氏所記
同上年至享七十三為御書院番松平日向守能登守同
御縁頼御光中刑部松平九郎將監傳
寛延四年未正二歩年三十六善同寺
号圓信院殿了遊日經居士

享 母 某 小菅 母同 某 小菅 母同

宝永二年乙酉十五歩善同寺
号妙玄日儀居士
宝永六年己丑四歩善同寺
号得静真智日經居士
享保十年乙巳七月五歩善同寺
号覚穢意明日静信士

正舊 小菅兵部 母

生江戸
宝暦元年辛未四三歩日七百石為中書侍
善同寺

昭和元年丙申七月二歩年
号修妙院殿了實日相居士

子

天明三年癸卯十一月十五歩善同寺
号蓮池院殿妙穀日實大師

正幸　母

小菅

新五左衛門

生年
明和元年戊子　歳五歳

女子　母

女子　菅

女子　菅

正

生年
寅　寅年

小菅久米蔵

新五左衛門

明和四年丁亥十九歳　寺
子清林院殿妙香妙孝

明和七年庚寅四十四歳　寺
子幻夢院殿示空妙孝

安永七年戊戌九歳　寺
子本了院殿妙相童女

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

文化四年九月二十六日新七百石

同十年酉十一月致仕

正 小菅采女助 新五左衛門

妻

文化十年酉十一月家督七百石

正親 小菅次郎大夫 次郎八 猪右衛門 因幡守号別等

妻 稲葉勘右衛門通政女

天和二年壬生沢

元禄五年壬十二月十二歩目千五百石所合知五百石於

所第女正智苟門而御老中列座大久保加賀守傳之為

小菅清中根大隅守組 同九年丙子八十三歳目御徳献

金馬代改 左衛門 猪右衛門 同十五年壬寅年五十為

御書院番酒井壹岐守組 享保六年辛丑八九為御小性組

永井備前守組奥頭同十二年壬寅年正十一為新御番頭

同十三年丙申五月 為御作事奉行 同年十二月一叙 諸大夫
改因幡守 御白書院縁頰而 御老中列坐酒井讃岐守傳之
同廿八日拜謝之献銀馬代 同十五年戊戌 西丸御書院番
中出勤 翌年己亥 相對婚移 飯田町邸 松平左近將監傳之
同六日 日光御祓 所見分 御用 於芙蓉間 御老中列坐 松平
左近將監傳之 同年八十五日 光御暇 賜金五枚 時服三 羽織
同年九月八日 同年十一月七日 日光 御宮及本坊
御修復 御用 於芙蓉間 御老中列坐 松平左近將監傳
本多弥八郎 本施孫 英衛尉之 同十六年己丑三月十五日 光
御暇 賜金五枚 時服三 羽織 同年十一月 日光 御宮
日光 御宮 宮遷座 濟 有御能
同日 賜金十枚 旨 芙蓉間 而 左近將監傳
同十七年庚寅五五 光御門 御普請 御用 芙蓉間

而 松平伊豆守傳 同年十二月八 御普請 御用 平
岱 賜金三枚 時服三
同十九年壬寅十六 仙洞 御宮 御修復 就 御暇 芙蓉
間 而 賜金三枚 同十五 日 饭府 同廿七 石正九 御役
御免 為 喜 合 名及 名和 執刀 筆 史 緣頰 本多中務大輔傳
之 延享二年乙丑十二廿七 致仕 賜三百俵 別峰
同三年丙寅六九 年六十五 寿 同寺
号 顯孝 従五位下前因幡守 別源正親

正智 小菅 朱女
智 生江戸

元禄五年壬申十二月十二賜分知五百石為小普請於菊間帝列坐
大久保加賀守伝々享保四年乙亥八月為奥津能登守
同八年癸卯七月致仕寛保元年辛酉七月卒　年
同寺号法秀院殿信月日宗居士

正院　小菅善五郎

寅　小菅善五郎
三枝平六郎守貞二男

生母
享保八年癸卯七月廿二家督五百石菊間帝御光中列坐
左近将監伝為小普請奥津能登守
同九年甲辰　為元方御御

宝暦元年辛未九月廿六歿年　葬同寺号顕了院殿道祐
日運居士

寿

宝暦元年辛酉八月十五歿年同寺
号定修院殿妙雲大姉

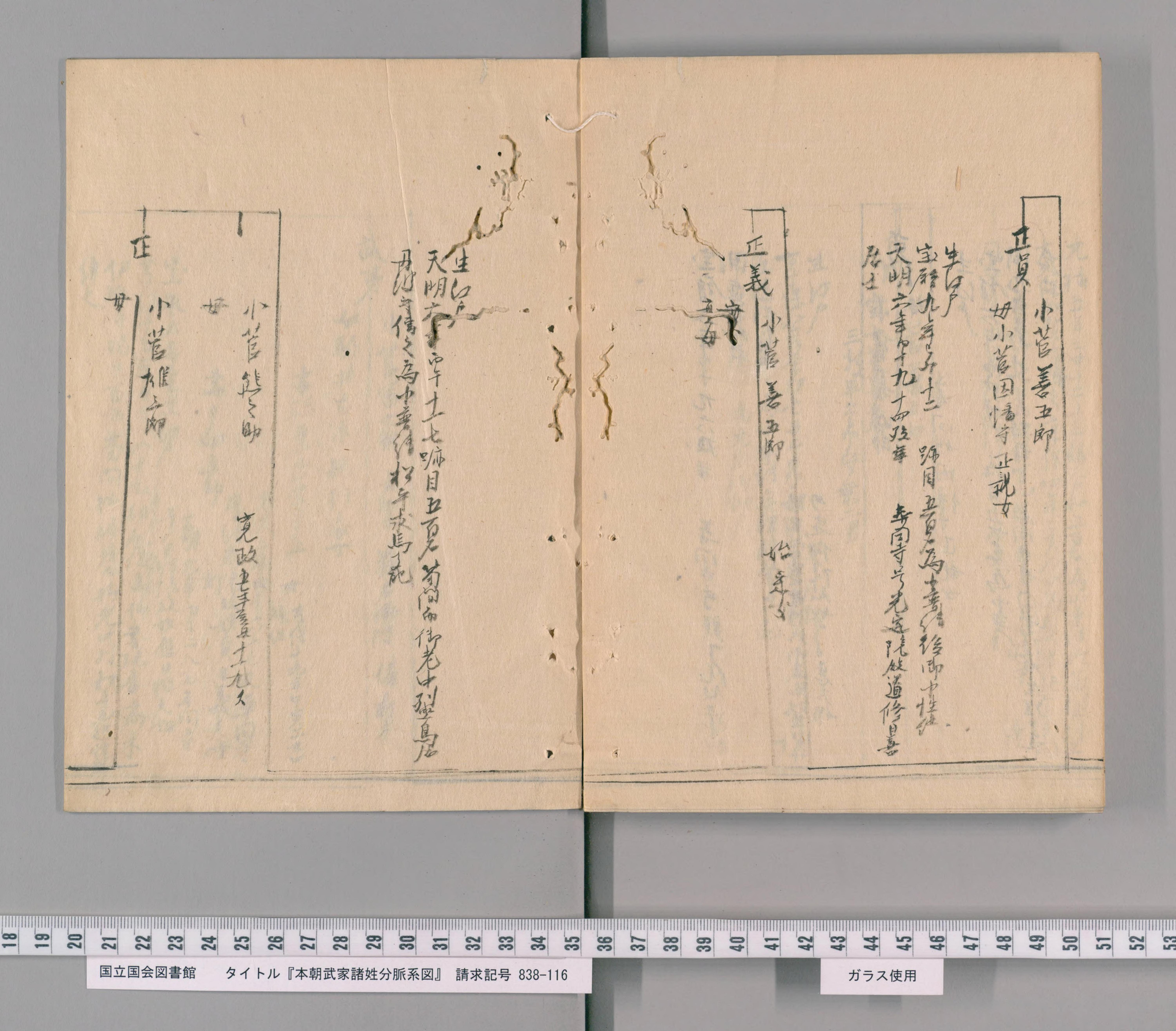
正信　小菅善五郎

母

寿　同姓因幡守正親女

生母
宝暦元年辛酉十一月廿五歿年
同九年己卯十二月十九歿年　海月五百石為小普請
居士　菩提寺同寺定修院殿宗雲日定

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

武隆

小菅信之助　大學　猪右衛門　備前守

女　駒井右京　親行養子

妻　稲葉出雲守正　女　享保十九年甲寅二月廿四日　緑組

元文二年丙午十六十七歿　華厳寺

号清光院殺女貞日義大姉

妻　戸田五助

元明元年己巳生　享保十五年庚戌　八十九歿

享保十九年甲寅二月廿四日歿　大姉

伊勢守賜三百俵　菊間縮緬御書院番高木

傳之

宝永六年己丑生

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

延享二年乙丑十二月七日 [illegible] 千五百石 [illegible] 荷間衛門
列[illegible]酒井雅楽頭侍従 同二年丙寅 [illegible] 御礼仰付 [illegible]
宝暦五年乙亥正月十五日御使番 同年十二月十八日
同七年丁丑十二月朝鮮客御用番
明和七年庚寅同月朝鮮客行同年九月五日御暇
諸大夫改備前守安永五年丙申十二月十日為御先年御[illegible]
天明元年辛丑十月二日依病辞 高[illegible]
同二年壬寅二月朝鮮客 [illegible]
号頭巾侍従 [illegible] 前備前守 [illegible]

女子

小笠原善八郎 正信妻
寛政八年辰三月廿日 [illegible]
[illegible] 十二月二日 [illegible]

正容 小笠原 猪右衛門 図書寺

[illegible] 岡山十次郎
[illegible]

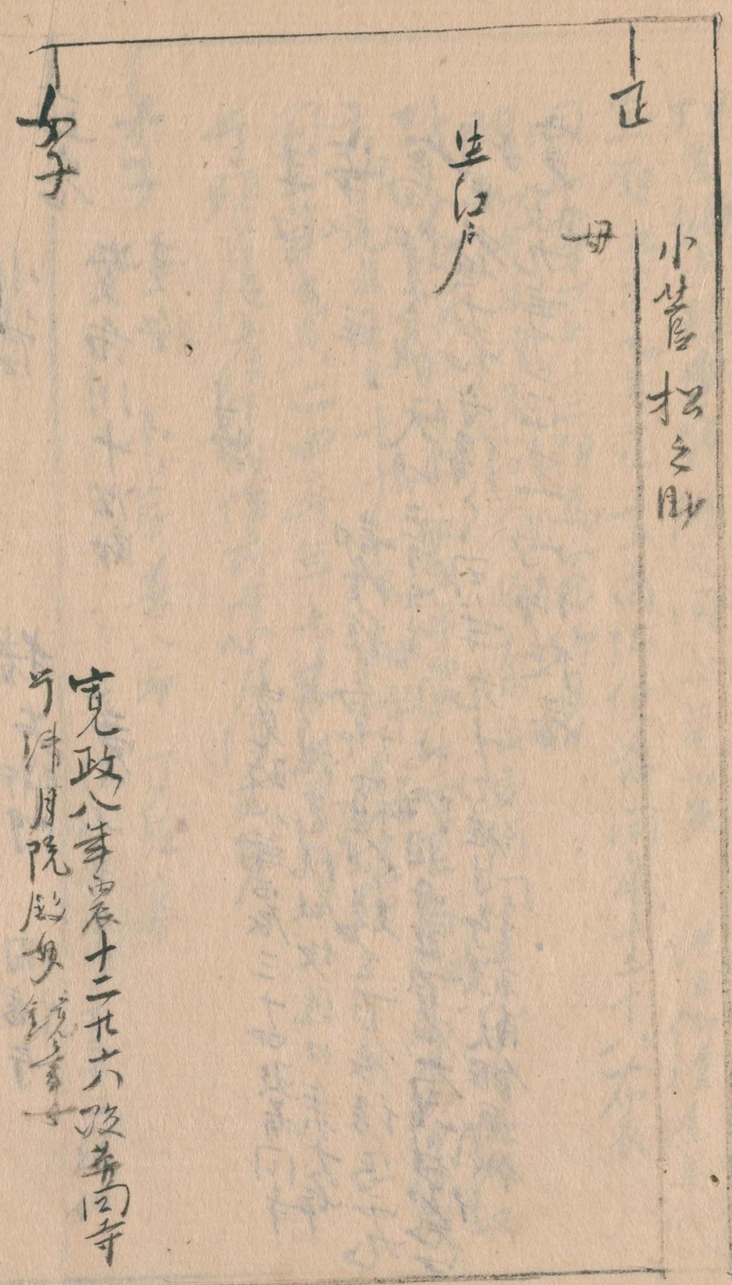
妻

生[illegible]
安永 年
[illegible] 天明二年壬寅五月七日 [illegible]
[illegible] 寛政九年丁巳正月十五日 [illegible]

寛政八年辰三月廿日 [illegible]
号法光院殿 [illegible]
[illegible] 部屋住為御小姓 [illegible]
[illegible] 同年九月十九日 [illegible]
[illegible] 御礼申上 [illegible]
[illegible] 為御使番

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

838
297
116



国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』 請求記号 838-116

ガラス使用